

あだちどまんなか



中島根

令和4年2月28日
足立区立中島根小学校
校長 武井利依
令和3年度3月号

しのたま じ たっ
子曰わく、辞は達するのみ。

校長 武井利依

日増しに陽射しがまぶしくなり、春の訪れがそこここに感じられます。図書室に飾られた雛人形を愛でて、心弾むようなやさしい気持ちになっています。

一昨年の最終登校日から二年経った今も、すべてのことが元通りとはいえません。しかしできることに活路を見出しながら学校生活を大切に過ごしています。18日後に巣立つ卒業生との日々を在校生・教職員・オール中島根で心を込め、思い出に残るよう積み上げます。

2月はまん延防止等重点措置期間中となり、リモート授業の選択もあり、全員揃うことができませんでした。4日から17日間に亘る北京冬季オリンピック期間中は、ご家庭でも声援を送ったことでしょう。日本の選手は新種目での活躍も目覚ましく、新たに学ぶことも多々ありました。連覇の期待がかかった種目では固唾をのんで見守りましたが、四年間の鍛錬を超える新勢力の台頭もあり、非常に困難なことだと改めて感じました。

そのような中で、最終日の決勝に臨んだカーリング「ロコ・ソラーレ」からは感動をたくさんいただきました。昼のリモート集会でカーリングについてのルール等を紹介したこともあり、興味深く見守っている児童も多かったことでしょう。10日の予選リーグ初戦はスウェーデンに黒星スタート。5勝3敗で迎えた最終戦は、決勝トーナメントに進むためには勝利が必須でした。しかし、最強豪スイスに黒星、ここで敗退という状況下でのインタビュー中にもたらされた吉報、まさに泣いたり笑ったりのインタビューとなりました。その後の快進撃は記憶に新しいところです。準決勝では前日敗れたスイスに快勝、平昌の銅メダルを超える銀メダル以上が確定しての決勝戦の相手は、平昌3位決定戦の対戦相手イギリスです。発祥の地であるイギリスには「コンシード（終盤で点差が開いて逆転が困難と判断される場合に、相手の勝ちを認め、敬意をこめて握手を求めて試合を終わらせること）」で銀メダルとなりました。12月17日にプレーオフに持ち込んで、平昌で銀メダルの韓国を破って五輪出場が決定してから二ヶ月での快進撃です。結果は一つ上がったことにはなりますが、敗れて銀メダルという状況には、悔しい気持ちがあるとのこと、その気持ちは四年後に続いていくことでしょう。11日間に亘る予選、決勝トーナメントでの世界に誇る「コミュニケーション力」をもつ「ロコ・ソラーレ」だからこそ、成し遂げられた偉業であると考えます。

今年度最終月の論語の章句は「言葉というものは、相手にその意味を十分に伝えるようにすることこそ大切なのだ。」という教えです。言い替えると「言葉は、詩でも文章でも自分の気持ちや考えを正しくわかりやすく、人に伝えることが、いちばんの目的です。すぐれた言葉を身につけることは、すぐれた人になるために、ぜひとも必要なことです。」まさに、自分自身の理想の実現のためには、コミュニケーション力が必要だということです。

明日、元サッカー選手で名古屋グランパスエイトや川崎フロンターレで活躍された中西哲生さんが6年生各学級にサッカー実技指導していただきます。その後、5・6年生に講演していただきます。与えられることだけではなく、自分から何かを学ぶ姿勢にはコミュニケーション力が不可欠です。多くのことを吸収してほしいと願っています。

専科から～一年間を振り返って～

【音楽】	【図画工作】
<p>この一年、授業の中で子ども達のやさしい姿を目にすることがありました。</p> <p>3年生は、学習発表会で木琴や鉄琴など、たくさんの楽器を使いました。練習後、自分の片付けが終わると休む間もなく、友達の片付けを手伝う姿が見られました。</p> <p>6年生は、ジャズ「LOVE」に挑戦しました。難しい曲なので、なかなか思うように弾けない友達に、後ろから手を添えて教えてあげる様子が見られました。</p> <p>このような子ども達の姿を見ると、とても嬉しくなります。6年生は、中学生になってもこのやさしい気持ちを持ち続けてください。</p>	<p>今年度も引き続き感染症対策を講じながらの授業となり、グループやクラス単位での共同制作は難しくなりました。子ども達はそのような限られた環境の中ではありますが、逆境に負けじと、リモートでの授業や Chromebook を活用した写真や動画の制作など、新しい試みにも挑戦しました。すぐにつくり方を覚え、次々にユニークな作品を提出してくれています。子ども達の柔軟性、発想の豊かさにはいつも驚かされます。</p> <p>図工が好きな子もそうでない子も、自分自身の思いを少しでも楽しみながら、色や形で表現出来るよう、今後も微力ながら支援を続けてまいります。</p>

3月の行事予定

3月の生活目標：身の回りの整理整頓をします。

日	月	火	水	木	金	土
		1 短縮 SC トップアスリートによる指導・講演(5・6年)	2 5時間授業	3 SC	4 HT 短縮	5
6	7 短縮 SC	8 短縮 SC 東京ガス出前授業(6年)	9 クラブ活動	10 HT 短縮 道徳授業公開 安全指導 SC	11 短縮	12
13	14	15 SC	16 1年～4年の下校 13時30分頃 委員会活動	17 SC 5・6年 下校14時30分頃	18 HT 短縮 大掃除	19
20	21 春分の日	22 午前授業 (1年～4年) 卒業式予行 (5・6年) 避難訓練	23 5時間授業	24 SC 修了式	25 卒業式	26 春季休業始
27	28	29	30	31		

☆ 配布した手紙や資料は、ホームページにも記載しています。
右の QR コードをご利用いただきご確認ください。



一年間を振り返って

今年度も残すところ一ヶ月となりました。子ども達は様々な成長を見せてくれています。その中でも一年間を振り返って、印象に残っていることや最近の様子等を各学年お伝えします。

【1年生】

桜咲く4月に入学して、早くも一年が経とうとしています。日々の授業や学校生活を通じて成長するとともに、1年生の児童が特に印象に残った行事が三つあります。

一つ目は、校外学習として隅田公園とすみだ水族館に出かけたことです。バスに乗って、2年生のお兄さん、お姉さんと協力して班活動を行うことによって、仲間意識や責任感が生まれました。

二つ目は、運動発表会です。青空の下、もてる力を全力で出し切った50メートル走、元気に踊った「ピカピカの1年生」保護者の方に応援してもらったことも嬉しい思い出です。

三つ目は、学習発表会です。国語の授業で学んだ「スイミー」を心をこめて歌い、せりふを覚えて表現しました。学校や家で練習した成果を本番で表すというのを目指し、日常の練習の大切さを感じ、本番を成功させることの楽しさを体験できたことが、大きな成長につながったことと思います。

一年間充実した時間を通じて学んだことを、児童一人一人が2年生での活動につなげていくことと思います。さらなる成長を楽しみにしています。

【2年生】

2年生は、一つ一つの行事を通して成長してきました。4月は1年生への学校案内を行いました。学校に何があるか、お兄さんお姉さんとして一緒に校内を歩いて案内しました。5月からは英語の授業が始まり、新しい学習にわくわくしていました。6月・7月は小学校生活で初めての水泳を経験しました。小学校の大きいプールでの水泳は、とても楽しい時間になりました。9月はローマ字を学習しました。タブレットの操作を身に付け、自分の名前、入力したい言葉をローマ字で打てるようになりました。今では随分速く打てるようになり、がんばってきたことを実感しています。10月は1年生との仲良し遠足に行きました。水族館で1年生を優しく支え、楽しませようと一生懸命考えました。11月の運動発表会では、自分たちで決めた曲と考えた振り付けで、47人でしかできない素晴らしいダンスを完成させることができました。12月は中島根郵便局を開局し、中島根小学校のみんなが書いたお手紙を、心をこめて届けました。1月の学習発表会では、みんなで初めての音楽劇に挑戦し、自分で選んだ役とせりふを通して精一杯やり遂げました。2月は家庭でタブレット端末を使った学習に挑戦してきました。3年生でも、たくさんの経験をして、さらに成長してほしいです。

【3年生】

3年生は、新しく始まる学習が増える学年です。様々な活動を通して子ども達の成長が見られた一年でした。理科の学習では、予想・観察や実験・まとめの流れを基本に、生き物を育てたり、様々な実験を友達と協力して行ったりしました。社会の学習では、自分たちの住んでいる町や区について調べました。自分の住んでいる区を調べることで、足立区に住んでいて良かったという気持ちを育んできました。外国語活動の学習では、ゲームや歌を歌い、英単語を覚え、外国の文化にも親しみました。総合的な学習の時間では、様々な教科で学んだことを生かしながら、調べてわかったことを新聞やポスターにして発表しました。

冬には、社会科見学に行きました。事前に見学先について調べたり、班で計画を立てたりしながら、当日は足立区内の様々な施設を見学し、区の歴史を感じつつ、足立区のことを調べることができました。

自分で考えたり、友達と協力したりすることが多かった一年でした。4年生に向けて、友達を頼ること、助け合うことなど学習したことを大切にしていって欲しいと思います。

【4年生】

4年生は、運動発表会と学習発表会の二分の一人式で大きな成長を遂げました。

運動発表会の「ワタリドリ」では『渡り鳥はどんな鳥であるか』を一番初めに学習し『4年生63人で心を一にして渡り鳥のように羽ばたこう』というめあてをもって取り組みました。簡単ではない振り付けにあきらめそうになることもあったと思いますが、ダンスが得意な子ども達が励まし、踊り方を教え、全体での上達につながりました。隊形移動は4回もあり、人数が多くなる場面では、渡り鳥のようにまっすぐに並ぶことが求められる難しいところがたくさんありました。しかし、いつも自分たちで考え、仲間を信頼して助け合い、素晴らしい演技を成功させることができました。

二分の一人式では、今までの10年間を振り返り、家族はもちろん、いろいろな人々の支えがあって自分たちの成長があったことを学び、様々な感謝の気持ちをもつことができました。式の本番でも家族への感謝の気持ちを言葉や歌、手紙等で伝えることができました。

二つの大きな行事から、何事も仲間を信頼すること、助け合うこと、感謝の気持ちをもつことの大切さを学び、高学年に向けて、頼もしい力をつけてくれました。来年度、さらなる成長と活躍を期待しています。

【5年生】

5年生がこの一年間で大きく成長した行事が二つあります。「運動発表会」と「鋸南自然教室」です。

運動発表会の表現「中島根ふるさとダンス」では、ふるさとを盛り上げるために地域伝承の踊りの一つである鷲神社の島根神代神楽の動きを取り入れたオリジナルダンスをグループごとに作成し、発表しました。グループの中で話し合いを重ねることで、自分の考えを相手に伝えることの大切さや、相手の意見を傾聴し、受け入れることの大切さを学ぶことができました。このダンスはこれからも中島根小学校の伝統として、引き継いでいきたいと考えています。

鋸南自然教室は、コロナ禍において、貴重な経験となりました。事前学習では、クロームブックのスライド機能を使って見学先についてまとめたり、係の仕事ごとの事前準備にも熱心に取り組んだりしていました。その準備が当日に生かされることを、身をもって体験することができたようでした。スマホやテレビもない状況で友達と交流し、しおりと時計を見ながら自分自身で判断して行動するなど、その一つ一つが大切な経験、大切な学習となったと思います。

来年度、最高学年での活躍を期待しています！

【6年生】

6年生は校外で学習する機会を多く設けることができました。6月に行った一日自然体験教室では、5年生の時に行けなかったかわりに、潮干狩りや海苔すき体験を存分に行い、海の豊かさを感じました。10月には社会科見学としてTGG・日本科学未来館に行きました。TGGでは全て英語を使ったコミュニケーションを行いました。最初は戸惑いながらも『理解しよう』『聞き取ろう』と積極的に取り組んでいる姿が印象的でした。この体験をきっかけに英語学習に興味をもった児童もいたようです。日本科学未来館では現代の科学や未来の技術にふれることができました。11月にも社会科見学を実施し、国会議事堂と江戸東京博物館に行きました。国会議事堂では参議院特別体験プログラムに参加し、法律を作るための話し合いを体験しました。国会議事堂の中も見学し、実際に使われている部屋を見ることもできました。江戸東京博物館では歴史の学習で学んだものを見ることができました。中島根小学校の代表として校外に出て活動することに慣れ、同じく11月に行った日光自然教室でも見学時の態度や積極的に学ぼうとする姿勢は立派でした。また、初めての宿泊でしたが、みんなで協力し声を掛け合いながら奮闘する姿も見られ、頼もしく感じました。コロナ禍で様々なことが制限されている中でも、有意義な一年間を過ごすことができたように感じます。この経験を自分の糧にして更なる成長をしてほしいです。